患者向医薬品ガイド

2021年4月更新

スマトリプタン錠50mg「TCK」

【この薬は？】

販売名	スマトリプタン錠50mg「TCK」 SUMATRIPTAN Tablets 50mg「TCK」
一般名	スマトリプタンコハク酸塩 Sumatriptan Succinate
含有量 （1錠中）	スマトリプタンコハク酸塩70mg （スマトリプタンとして50mg）

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、５－ＨＴ$_{1B/1D}$受容体作動型片頭痛治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。

・この薬は、セロトニン（５－ＨＴ）と呼ばれる物質のうちの５－ＨＴ$_{1B}$と５－ＨＴ$_{1D}$受容体に選択的に作用し、頭痛発作時の拡張しすぎた頭部の血管を収縮させること、および神経末端からの炎症を起こす物質の放出を抑えることにより、片頭痛を改善します。

・次の病気の人に処方されます。

片頭痛

・家族性片麻痺性片頭痛、弧発性片麻痺性片頭痛、脳底型片頭痛あるいは眼筋麻痺性片頭痛の人は、この薬を使用することができません。

・この薬は、量を加減せず、医師の指示に従って飲んでください。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にスマトリプタン錠「TCK」に含まれる成分で過敏症のあった人
・過去に心筋梗塞になったことがある人、虚血性心疾患であるかまたはその症状や兆候がある人、異型狭心症（冠動脈攣縮）がある人
・脳血管障害や一過性脳虚血性発作になったことがある人
・末梢血管障害がある人
・血圧管理が不十分な高血圧の人
・肝臓に重篤な障害がある人
・エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、あるいは５－ＨＴ$_{1B/1D}$受容体作動薬（スマトリプタンと同じ作用の他の片頭痛治療薬）を使用している人
・モノアミンオキシダーゼ阻害剤（ＭＡＯ阻害剤）を使用している人、あるいはモノアミンオキシダーゼ阻害剤の使用を中止して２週間以内の人

〇次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・虚血性心疾患の可能性がある人（例えば、虚血性心疾患を疑わせる重篤な不整脈がある人、閉経後の女性、４０歳以上の男性、冠動脈疾患になりやすい人）
・過去にてんかん様発作があった人、あるいはてんかん様発作発現を来しやすい人（脳炎等の脳疾患がある人、痙攣（けいれん）の閾値を低下させる薬剤を使用している人等）
・肝臓に障害がある人
・腎臓に障害がある人
・高齢の人
・過去にスルホンアミド系薬剤で過敏症のあった人
・血圧管理が十分行われている高血圧の人
・脳血管障害の可能性がある人

〇この薬には併用してはいけない薬［エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩（ジヒデルゴット）、エルゴメトリンマレイン酸塩（エルゴメトリンＦ）、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（メテルギン）、ゾルミトリプタン（ゾーミッグ）、エレトリプタン臭化水素酸塩（レルパックス）、リザトリプタン安息香酸塩（マクサルト）、ナラトリプタン塩酸塩（アマージ）、モノアミンオキシダーゼ阻害剤］や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の使用する量および回数は、次のとおりです。

一回量	１錠
飲む回数	頭痛発作発現時に１錠を投与します。 効果が不十分な場合には、追加投与することができますが、前回の投与から２時間以上の間隔をあけてください。 また、１錠の経口投与で効果が不十分であった場合には、次回の片頭痛発作発現時から２錠を投与することができます。 ただし、１日の総投与量を４錠以内としてください。

・この薬は頭痛発作発現時にのみ使用し、予防を目的として使用しないでください。
・この薬を使用しても全く効果が認められない場合には、他の原因による頭痛の可能性があるので、それ以上この薬を使用せず、医師に相談してください。
・スマトリプタン注射液またはスマトリプタン点鼻液と組み合わせて使用する場合、
　・この薬を使用した後に、スマトリプタン注射液またはスマトリプタン点鼻液を使用する場合には、２時間以上の間隔をあけてください。
　・スマトリプタン注射液を使用後に、この薬を使用する場合は、１時間以上の間隔をあけてください。
　・スマトリプタン点鼻液を使用後に、この薬を使用する場合は、２時間以上の間隔をあけてください。

●どのように飲むか？

コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

・異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を使用後、胸の痛みや胸の圧迫感などの一時的な症状があらわれることがあるので（強く咽喉頭（いんこうとう）の辺りまで症状が出る場合もあります）、これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
・心血管系の病気がない人でも、心臓に重篤な障害が極めてまれに起こることがあるので、異常を感じた場合には、ただちに医師に連絡してください。
・頭痛発現時あるいはこの薬を投与した後に眠気があらわれることがありますので、この薬を飲んでいる間は自動車の運転等危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
・この薬を含むトリプタン系の薬により、頭痛が悪化することがあるので、この薬を使用しても良くならない場合には医師に相談してください。

・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
・授乳を避けてください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシーショック	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
不整脈 ふせいみゃく	めまい、動悸（どうき）、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ
狭心症あるいは心筋梗塞を含む虚血性心疾患様症状 きょうしんしょうあるいはしんきんこうそくをふくむきょけつせいしんしっかんようしょうじょう	しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、息苦しい
てんかん様発作 てんかんようほっさ	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
薬剤の使用過多による頭痛 やくざいのしようかたによるずつう	頭痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、冷汗が出る、顔や手足の筋肉がぴくつく
頭部	めまい、気を失う、一時的にボーっとする、意識の低下、頭痛
顔面	顔面蒼白（そうはく）
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸（どうき）、息苦しい、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ
手・足	手足が冷たくなる、脈が遅くなる、脈がとぶ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

形状	フィルムコーティング錠
直径	7.6mm
厚さ	3.5mm
重さ	153mg
色	白色
識別コード	TU 227

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	スマトリプタンコハク酸塩
添加物	乳糖水和物、部分アルファー化デンプン、セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、トリアセチン、酸化チタン、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：辰巳化学株式会社(https://www.tatsumi-kagaku.com/)
薬事学術・安全管理部：076-247-2132
受付時間：月～金曜日　9:00～17:00（祝祭日を除く）
販売会社：株式会社フェルゼンファーマ（https://www.feldsenfpharma.co.jp）
安全管理部
電話：03-6368-5160
受付時間：8時30分～17時30分
（土、日、祝日、その他の当社休業日を除く）